NEWS　RELEASE

国土交通省

国土交通省 近畿運輸局

問い合わせ先
（所属）　海事振興部船員労政課
（担当）　吉武、武田
（電話）　06-6949-6435

平成３０年６月２０日

内航船員の確保・育成対策
平成３０年度『近畿内航船員対策協議会』総会を開催しました

近畿内航船員対策協議会（会長：上窪良和　田渕海運（株）顧問）は、近畿地区の内航船主組合と近畿運輸局で構成し、内航船員という職業の魅力を回復することによって、内航海運が若年労働力市場を開拓していける状況をつくりだす方策と内航船員の安定雇用、育成対策を多角的に協議し推進しています。

今般、平成３０年６月６日（水）に近畿運輸局会議室において平成３０年度総会を開催し、平成２９年度事業計画並びに収支決算報告と平成３０年度事業計画を決定ましたので、お知らせいたします。

決定された計画に基づき、近畿内航船員対策協議会は平成３０年度も事業を推進していきます。

https://c2sea.jp

配布先：海運関係業界プレス

平成３０年度『近畿内航船員対策協議会』の総会を開催しました

近畿内航船員対策協議会（会長：田渕海運㈱ 上窪良和顧問）では、６月６日（水）に近畿運輸局第三会議室において平成３０年度総会を開催しました。

総会には、当協議会の幹事の他に構成員である管内海運会社の役員の方々にも出席していただきました。

総会冒頭、上窪会長から、水産系高校からの新卒内航船員が４年で倍増しているという前向きな話に触れ、実際に当協議会で実施している水産系高校への職業講座においても生徒たちの反応が変わってきていることを紹介されました。

これら水産系高校新卒者をはじめ内航船員の採用が着実に増えてきていることから退職者の数とのバランスが取れてきているように見えるが、実は大手の採用にまわっていて、中小零細事業者は依然として若年内航船員の採用が難しい状況がある。そういった問題意識を持ちながら、当協議会としては、成果が着実に表れている水産系高校への取り組みに重点を置きつつ、更に将来を見込んでの中学生を中心とした啓発活動にも力を入れていきたい。今年度の活動方針についても新たな取り組みが追加されているため、十分に審議していただきたいと挨拶がありました。

議長には上窪会長が選出され、議事次第に沿って事務局から平成２９年度の『事業報告』、『収支決算報告』、『会計監査報告』の説明があり、異議なしとして承認されました。

続いて、平成３０年度の『事業計画（案）』、『収支予算（案）』の提案説明では、中長期的視点に立った取組として、「海運」や「船員」に関心を持ってもらうため、小中学校での出前講座や、一昨年度からはじまった新たな供給ソースとして期待される児童養護施設への出前講座、奈良県のボランティア団体「キッズ&ＯＢ倶楽部」が企画する体験航海への参画、管内の小学校への絵本「かもつせんのいちにち」の寄贈等の実施が提案されました。

また、若年船員の確保に向けた取組として、内航船員の供給ソースとして期待される水産系高校・工業系高校の生徒や退職海上自衛官を対象とした事業等の実施が提案され、船員の安定雇用に向けた取組、広報活動も含め、提案事項はすべて異議なしとして承認されました。

内航海運を取り巻く環境は依然として厳しく様々な問題がありますが、各種事業の実施にあたっては、関係自治体や神戸地区内航船員確保対策協議会、学校等の関係機関と連携を強化し、内航海運における様々な問題解消に寄与すべく、各活動に

積極的に取り組んでいくことを確認して、平成３０年度総会を無事に終了しました。
　長年の課題の解消に向けて、より実効性のある活動を中心に今年度も取り組んでいきたいと思っております。

　なお、平成３０年度の事業計画は次のとおりです。

Ⅰ．中長期的視点に立った取組
　１．中学校へのアンケート調査
　２．小中学校及び児童養護施設への出前講座
　３．小中学生、高校生を対象とした体験乗船
　　・キッズ&ＯＢ倶楽部が企画する体験航海への参画
　４．その他の活動（練習船見学会）
Ⅱ．若年船員の確保に向けた取組
　１．工業系高校生を対象とした体験乗船
　　（神戸地区内航船員確保対策協議会と共催）
　２．水産系高校における職業講座
　３．インターンシップ
　４．ジョブカフェと連携した就職セミナー
　５．その他の活動
Ⅲ．船員の安定雇用に向けた取組
　１．水産系高等学校との内航船員育成に係る意見交換会の開催
Ⅳ．広報活動
　　・絵本「かもつせんのいちにち」の小学校への寄贈

（近畿運輸局　海事振興部　船員労政課）